

横浜市記者発表資料

令和8年2月18日
医療局健康安全課

麻しん（はしか）患者の発生について

横浜市内の医療機関から、2月17日に、麻しん（はしか）の発生届が提出され、市衛生研究所で遺伝子検査を実施したところ、2月18日に、はしか陽性と判定されました。なお、感染経路は調査中です。

保健所が患者の行動や接触者について調査したところ、周囲へ感染させる可能性のある時期に、下記の公共交通機関及び施設を利用していたことが判明しました。

当該公共交通機関及び施設を同じ時間帯に利用された方で、利用された日から3週間の間に、はしかを疑う症状（別紙）が現れた場合は、事前に医療機関に電話連絡の上、指示に従い受診してください。また、移動の際は、周囲への感染を拡げないよう、公共交通機関等の利用を避けてください。

【感染可能期間内に患者が利用した公共交通機関】

公共交通機関	利用日時
東急東横線	<u>令和8年2月10日（火）</u> 午前7時40分台 白楽駅発 → 午前7時50分頃 横浜駅着 <u>令和8年2月16日（月）</u> 午後1時00分台 菊名駅発 → 午後1時00分台 白楽駅着
JR 京浜東北線	<u>令和8年2月10日（火）</u> 午前8時00分頃 横浜駅発 → 午前8時20分頃 大森駅着 午後6時03分頃 大森駅発 → 午後6時26分頃 横浜駅着
JR 横浜線	<u>令和8年2月16日（月）</u> 午前8時26分頃 東神奈川駅発 → 午前8時29分頃 大口駅着 午後1時00分台 大口駅発 → 午後1時00分台 菊名駅着
横浜市営バス	<u>令和8年2月16日（月）</u> 午前8時11分頃 六角橋発 → 午前8時15分頃 東神奈川駅着

【感染可能期間内に患者が利用した施設】

利用施設	利用日時
医療法人財団 慈啓会 大口東総合病院 (住所: 横浜市神奈川区入江2丁目19-1)	令和8年2月16日（月） 午前8時30分頃～午後0時35分頃
一般財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院 皮膚科 (住所: 横浜市西区みなとみらい3丁目7-3)	令和8年2月17日（火） 午前10時30分頃～午前11時00分頃

※各公共交通機関及び利用施設へのお問い合わせは御遠慮ください。

現時点において、はしか患者が利用した公共交通機関等を利用しても心配はありません。

患者の概要: 20歳代 男性 予防接種歴: 不明

経過等 : 2月11日 発症（発熱）

2月17日 発しん出現、市内医療機関受診、はしか診断・届出

2月18日 市衛生研究所が実施した遺伝子検査で陽性判定

裏面あり

【はしか発生動向（本件を含まず）】

[件]

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
横浜市	0	0	1	0	0	20	0 ^{※1}
全 国	10	6	6	28	45	265	32 ^{※2}

※1 令和8年2月12日時点 ※2 令和8年2月12日時点（国立健康危機管理研究機構）

接触者が特定できており、不特定多数が感染する可能性が低いため、個別の発表をしていない事例も含みます。

【市民の皆様へのお願い】

- はしかは昨年から、国内で多数報告されています。日頃の感染予防対策をお願いします。
- 海外への渡航予定のある方は、渡航先で流行している感染症を確認した上で予防接種などの感染予防対策の検討をお願いします。
- 2回の予防接種を受けた方、過去に感染したことがある方は、免疫を獲得しているため、はしかの発症を予防できるとされています。
- 母子手帳などで接種歴を確認し、小学生以上の方で2回接種をしていない場合は、ワクチンを接種することをお勧めします。
- 定期接種の対象となる1歳と小学校入学前（年長児）の方は、接種期間に適切に予防接種を受けましょう。
- ワクチン接種歴が不明な方は、抗体価の検査について医療機関に御相談ください。

【お願い】

報道機関各位におかれましては、感染症法の精神に基づき、患者及び患者家族等が特定されることがないよう、格段の御配慮をお願いいたします。

お問合せ先

横浜市保健所健康安全課長

竹澤 智湖

Tel 045-671-2442

別添資料あり

麻しん(はしか)について

- 麻しんウイルスによる感染症で、非常に感染力が強く、抗体がない人が感染するとほぼ100%発症します。
- 麻しんは、一度かかった人及び2回の予防接種により十分な免疫をもっている人は、発病や重症化のリスクが低くなると言われています。

主な症状

- ・ 感染すると10~12日間の潜伏期間を経て、発熱、咳、鼻水など風邪のような症状が現れ、2~3日間発熱が続いた後に、39度以上の高熱と全身に赤い発しんがでます。
- ・ 症状が出現する1日前から解熱後3日くらいまで周りの人に感染させる力があります。

感染経路

- ・ 空気感染、飛沫感染、接触感染で咳やくしゃみ等の飛沫からだけでなく、麻しん患者と同じ空間にいるだけで感染します。

もし麻しん患者と接触したら？

- ・ 麻しん患者と最後に接触した日から21日間は毎日体温を測り、健康観察をしましょう。
- ・ 万が一、症状が現れた場合は事前に医療機関に連絡し、医療機関の指示に従って受診してください。移動は周囲への感染を拡げないよう、公共交通機関等の利用を避けてください。

麻しんの予防方法

ワクチン

- ・ 麻しんはワクチンで予防できます。母子手帳などで接種歴を確認し、小学生以上の方で2回接種をしていない場合は、ワクチンを接種することをお勧めします。
- ・ 麻しん風しん混合（MRワクチン）は予防接種法で定期予防接種の対象とされています。対象となる方は、接種期間に適切に予防接種を受けましょう。
- ・ ワクチン接種歴が不明な方は、抗体価の検査について医療機関に御相談ください。抗体価が低い場合には、ワクチン接種をご検討ください。

▶横浜市保健所「麻しん・風しんについて」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/yobosesshu/kansencho/kakusyukansensyou/measles.html>

※夜間、休日の医療機関案内は、#7119、かながわ救急相談センター
045-232-7119、045-523-7119(24時間・年中無休)にご相談ください。